



NPO法人 Nagasaki Marine Industry Cluster Promotion Association

長崎海洋産業クラスター形成推進協議会



洋上風力発電事業に関する社会人技術者向け 「長崎海洋アカデミー」プロフェッショナルコース構築

特定非営利活動法人 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

総括事業代表者 : 中野 俊也 (長崎海洋アカデミー所長)

副総括事業代表者 : 小林 英一 (開発コーディネーター)

副総括事業代表者 : 松尾 博志 (NOA TRAINIG 訓練施設長)

事務管理責任者 : 尾上 泰啓 (事務局長)

令和7年度「洋上風力発電人材育成事業費補助金」

『クラスター協議会』について



NPO法人 Nagasaki Marine Industry Cluster Promotion Association
長崎海洋産業クラスター形成推進協議会



- NPO法人として2014年設立
活動方針『新たな海洋分野における「知」と「産」の拠点形成』
- 正会員約100社、常勤スタッフ16名。県・市・地元大学との強い連携。豊富な人脈。
- 活動財源 会員企業からの会費、受講料収入
日本財団、国・県・民間企業からの委託（海洋再エネ（洋上風力・潮流発電）、地域産業支援、技術開発、人材育成等）
- 2020年10月 長崎海洋アカデミー（NOA：Nagasaki Ocean Academy）を開講
- 2024年11月 洋上風力発電作業員の安全訓練施設（NOAT：NOA TRAINING）を開講



NOAでの講義の様子



NOATでの訓練の様子

※NOAの設立資金は日本財団より助成
(2019～2021年)

- ・ 十分な実施体制
- ・ 健全な財務体制を保有

本事業の概要

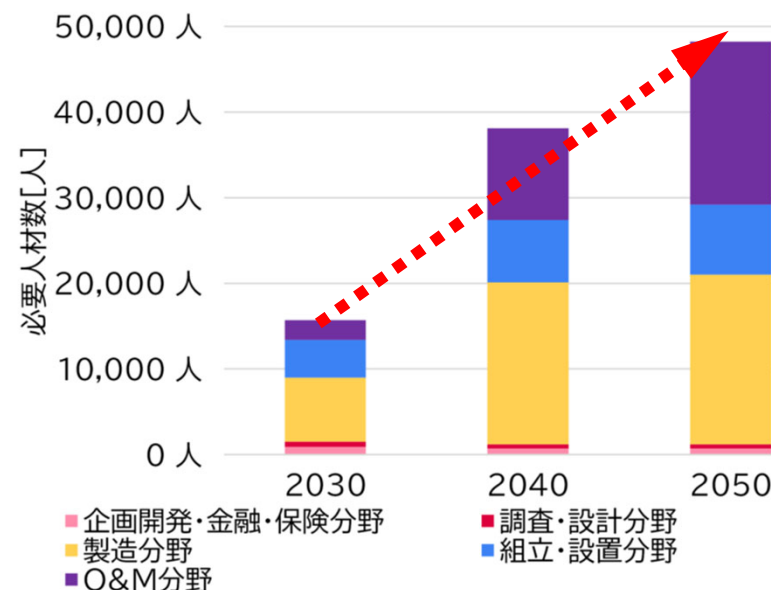
- プロフェッショナルな人材不足
- NOAで実践してきた基礎・導入部分の体系的・実務的な社会人技術者に向けた教育は高評価



- 更なる高度な専門知識を習得するコースを熱望
 - 「**漁業共生コース（2日間）**」事業初期段階時に必須の地元関係者との合意形成を円滑に進める知識（案件形成をスムーズに進めるためのヒントを得る）
 - 「**O&Mコース（2日間）**」事業開始後に制約の多い洋上で効率的に運転・保守を担う知識と技術（洋上風力O&Mの準備を進めるためのヒントを得る）



- 社会人技術者を対象とする2コースの開講に向け
 - 「**漁業共生コース**」講義資料（コンテンツ）作成（令和8年度開講）
 - 「**O&Mコース**」講義基本計画（シラバス）作成（令和9年度開講）



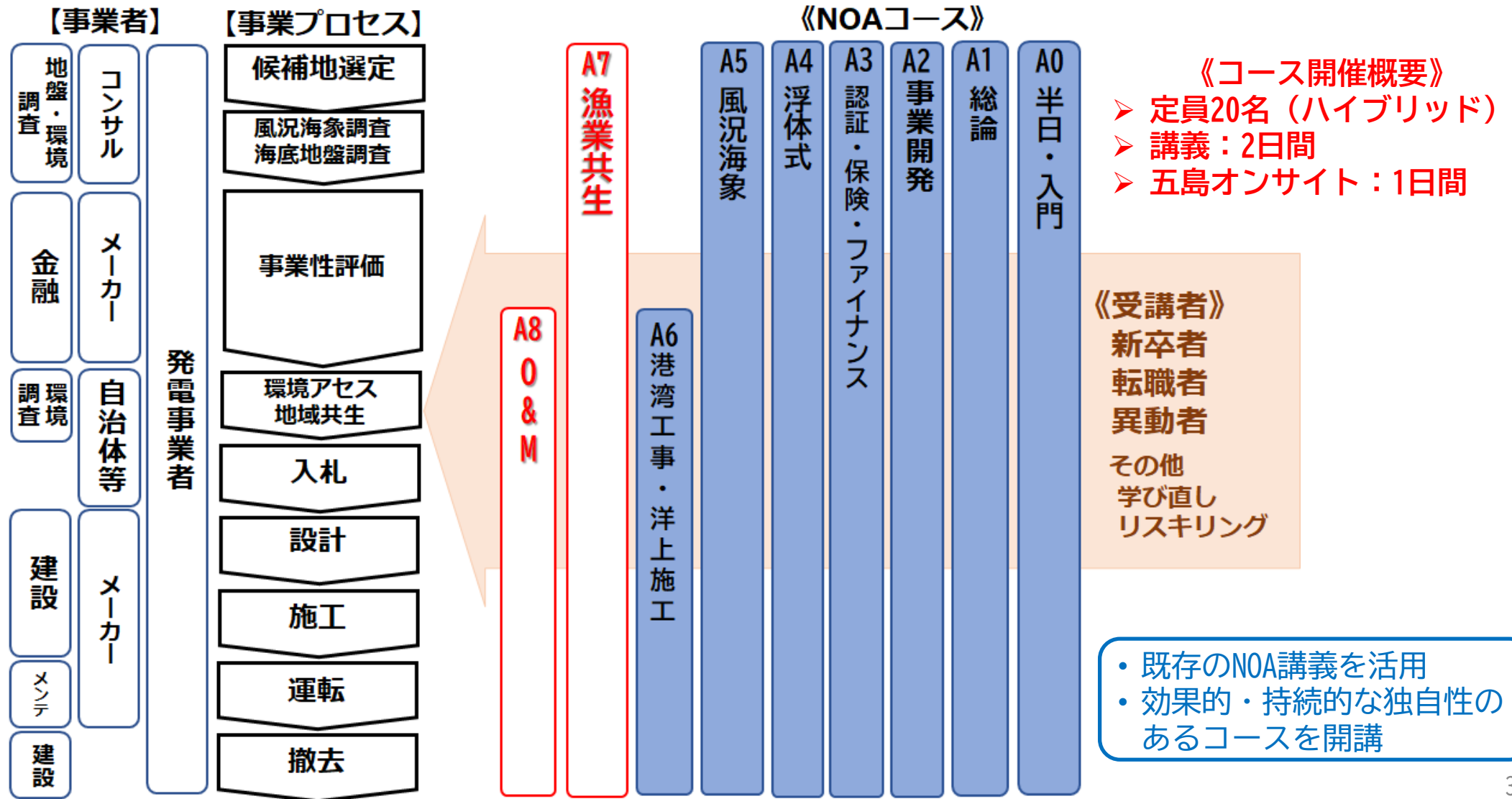
日本風力発電協会（2023/10/3）

<https://jwpa.jp/information/7798/>

《NOA実績》受講者数：1,061名
開催数：83回
(98%以上の方が満足)

公共性の高い専門人材育成
コースを開講

本事業概要（事業プロセス&事業者とコースの関係）



本事業により期待される効果

《コース概要（コンテンツ案）》

『**漁業共生コース**』：海洋学と水圏環境、魚貝類・藻類概論、水産・海洋調査、漁業技術、水産技術の展開、水産法務、海洋空間計画、漁業協調の今と未来 など

『**O&Mコース**』：O&M概要、風況・海象概論、信頼性工学、機器とインフラ、O&M計画、故障損傷事例、運転モニタリング、O&M契約と法規、O&M先端技術 など

- 体系的な知識習得のための基礎・実務的な内容で構成された講義
- 知識の深化のためワークショップを取り入れる
- 具体的な事例を教材に盛り込むことで即現場で対応可能
- 講師のための模擬講義、外部評価、アンケートなどの継続実施により講義の質を維持



- ・ 洋上風力発電事業の高度発展につながることを期待
- ・ 発展的な人材活用につながることを期待

事例紹介を盛り込む

- ・ 受講者が実務に応用展開が可能
- ・ それぞれの関係者に知識を水平展開できるので波及効果が高い